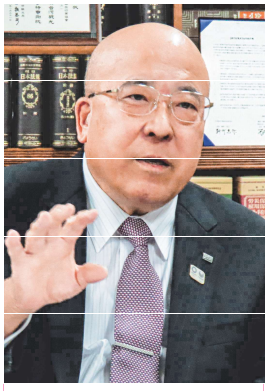
観光立国の実現は地方（地域）から

2020年 観光の展望は

新年号トップインタビュー

ツーリズムの力で教育 新しい旅のカタチを提案



日本旅行業協会（JATA）会長
田川 博己 氏

――19年を振り返ると。（聞き手・板津昌義）

「旅行業界から見ると、豪雨や台風などによる災害が多かった。ここ数年、続く傾向にあり、『ふっこう剤』や応援キャンペーンによる観光支援の実施も多くなっている」

「ワールドカップラグビーも開催された。札幌から熊本まで会場はほとんど満席で、多くの人が試合を見た。イギリスをはじめとする外国の人たちがたくさん来て、日本人も一緒になって楽しんだ。以前のスポーツは『参加する』か『観る』かのいずれかだったが、ラグビーは『楽しむ』という新しい種をまいた。スポーツツーリズムの広がりが表せた」

「5月の大型連休では、長い旅行を楽しむ人が多くいるかと思ったが、相変わらず1泊2日、せいぜい3泊4日で後は家で休むとかだ。休みを楽しむことについては まだまだと改めて感じる」

「首里城が火災に見舞われ焼失してしまった。ノートルダム寺院でも火災が発生したが、起こったことはしょうがない。地震で被害を受けた熊本城も含め、われわれ旅行会社は応援キャンペーンを実施し、新しく再建されるまでのプロセスを応援していく」

――20年の国内旅行はどう動くと見ているか。

「『宿泊旅行が減少傾向にある。自然災害による一過性のものなのか全体を見極める必要がある。消費税が10月に上がったが宿泊旅行に大きく影響していない。それよりも高齢化がどう影響するかが問題だ。高齢化社会の中で高齢者港の問題も影響が出ているが、ラグビーワールドカップがあってまだ伸びている」

「インバウンドは韓国や香港の問題で影響が出ているが、ツーリズムは人々の交流と移動なので、大事なキーワードは交通だ。二次交通、三次交通に課題がある」

「国内観光は、単に宿泊を伸ばすのではなくて、旅のライフスタイルを変えていかなければならない。これからの旅行は『どこに行く』よりも『何をしに行く』という目的がテーマだ。ツーリズムEXPOジャパンでも『次』をテーマに掲げているが、新しい旅のカタチを提案するような努力をするべきだ」

――訪日旅行の動きは。

「3千万人を超えてリピーターが増えると地方に分散する。ロンパリローマに行った日本人は20年たってフランスのパリ以外の地方を周遊したりスペインだけを一周したりコースに旅行が成熟化すればリピーターが地方に行くのは旅行が自由に旅行できる環境をどう作るか、ツーリズムはインバウンドの交流と移動なので、大事なキーワードは交通だ。二次交通、三次交通に課題がある」

「国内観光は、単に宿泊を伸ばすのではなくて、旅のライフスタイルを変えていかなければならない。これからの旅行は『どこに行く』よりも『何をしに行く』という目的がテーマだ。ツーリズムEXPOジャパンでも『次』をテーマに掲げているが、新しい旅のカタチを提案するような努力をするべきだ」

――訪日旅行の動きは。

「3千万人を超えてリピーターが増えると地方に分散する。ロンパリローマに行った日本人で日本の伝統的な工芸品はどこで手に入るのか」と聞かれて、日本人は即答できない。日本人は20年たってフランスのパリにはパカラ美術館があるが、日本では『買う場所』という志向が変わった。同じように地方では宿泊施設は買わせる場所の一つだ。加賀屋や城山らいたい。中国の爆買いもあったが、一通り買えば、次は自分の好きなものを買う。だが、訪日外国人が好きな物を買える場所が日本にあるのか。例えば、外国人に『東京で日本の伝統的な工芸品はどこで手に入るのか』と聞かれて、日本人は即答できない。だから、一通り買えば、次は自分の好きなものを買う。だが、訪日外国人が好きな物を買える場所が日本にあるのか。例えば、外国人に『東京で日本の伝統的な工芸品はどこで手に入るのか』と聞かれて、日本人は即答できない。

「『インバウンドは韓国や香港の問題で影響が出ているが、ツーリズムは人々の交流と移動なので、大事なキーワードは交通だ。二次交通、三次交通に課題がある』

「国内観光は、単に宿泊を伸ばすのではなくて、旅のライフスタイルを変えていかなければならない。これからの旅行は『どこに行く』よりも『何をしに行く』という目的がテーマだ。ツーリズムEXPOジャパンでも『次』をテーマに掲げているが、新しい旅のカタチを提案するような努力をするべきだ」

――訪日旅行の動きは。

「3千万人を超えてリピーターが増えると地方に分散する。ロンパリローマに行った日本人は20年たってフランスのパリ以外の地方を周遊したりスペインだけを一周したりコースに旅行が成熟化すればリピーターが地方に行くのは旅行が自由に旅行できる環境をどう作るか、ツーリズムはインバウンドの交流と移動なので、大事なキーワードは交通だ。二次交通、三次交通に課題がある」

「国内観光は、単に宿泊を伸ばすのではなくて、旅のライフスタイルを変えていかなければならない。これからの旅行は『どこに行く』よりも『何をしに行く』という目的がテーマだ。ツーリズムEXPOジャパンでも『次』をテーマに掲げているが、新しい旅のカタチを提案するような努力をするべきだ」

――訪日旅行の動きは。

「3千万人を超えてリピーターが増えると地方に分散する。ロンパリローマに行った日本人は20年たってフランスのパリ以外の地方を周遊したりスペインだけを一周したりコースに旅行が成熟化すればリピーターが地方に行くのは旅行が自由に旅行できる環境をどう作るか、ツーリズムは人々の